

# 教育の質向上と質保証の徹底のため、 全学的に教育改革に取り組んでいます。

未来へつなぐ。  
地域へつなぐ。

## 平成24年度より環境整備をスタート —取り組みの沿革—

富山短期大学では、平成24年度に文部科学省の「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」の補助を受け、学修・授業支援システム「webシラバス・システム」を構築し、ユビキタス学習環境を整備しました。これにより、双方向コミュニケーション機能を利用した授業の活性化を進めています。

また、平成25年度には、「ラーニング・コモンズ」など、協働学習のための環境整備に取り組みました。

## PDCAサイクルのシステム化へ —AP選定による加速化—

平成26年、本学が申請した取組みが文部科学省の「大学教育再生加速プログラム（AP）」に選定されました。これは、「学修成果評価システムの構築」などにより「学修成果の可視化によるPDCAサイクルのシステム化」をめざすものです。

この環境のもと、「教員の協働・授業改善」「学生の協働・協働学習」「Learning Community」という3つの教育目標へ向かって、改革を加速していきます。



ラーニング・コモンズ

### 協働学習環境 「ラーニング・コモンズ」 「マルチビジョンスタジオ」

自在配置型曲線形デスクやプロジェクター、大型ディスプレイなどを整備した自学自習や協働学習のための専用ルーム。

### 自学自習・協働学習、 主体的・能動的学習の実現

### ユビキタス・双方向 学習環境

「Webシラバス・システム（WS）」  
の構築・整備

シラバス（授業計画書）をインターネット上に置き、時間や場所を問わずアクセスできる環境を構築。

### 環境整備

平成24・25年度  
「私立大学等  
教育研究活性化設備整備事業」  
（文部科学省）

効果的・効率的な  
授業・学習

### 環境整備

平成26年度  
「大学教育再生  
加速プログラム（AP）」  
（文部科学省）

### PDCAサイクルの システム化

- 「学修成果評価システム（LOAS）」の構築
- 「学生アンケートの体系化と学生情報ファイルシステム（SIF）」の構築
- アンケート及び委員会による「第三者評価」

教員、学生、第三者による「学修成果」への多面的評価を採り入れ、授業内容・方法の改善と個別学修支援の改善を加速し、全学的なPDCAサイクルを実質化。

### アクティブ・ ラーニング環境 「グループワーク・ルーム」 「ラーニング・スタジオ」

大型スクリーンなどを備え、60人規模の協働学習専用ルームや、「表現」「作業」「思考」を可視化・共有化するスタジオを整備。

### 教員の協働・授業改善

### 「何を教えるか」から 「何ができるようになるか」へ

学修成果の効果的・効率的実現に向けて、教育課程の編成・実施と授業内容・方法の工夫・改善を進めます。

- 学生の学修に焦点をあてた「様々な授業改善の工夫」
- 成績評価の精緻化などの「個別学習支援の改善」
- 「動機づけ・モチベーションの高揚」

### 地域との協働

### 地域と共に、 地域のために

### Learning Community

### 「主体的学び」と 「授業への積極参加」

学び、成長し続けるためには、「自ら主体的に学ぶ力」が必要不可欠です。この力の育成が短大教育で最も重要な役割のひとつです。

- 参加型授業や産学連携のPBLなど「様々な授業改善の工夫」
- 「SIF」の学生へのフィードバックによる「『気づき』を促す仕掛け」
- ユビキタス学習環境の整備による「学習時間の増加」

### 学生の協働・協働学修

### 「共に教え学び合う」

教え、教えられ、学び合いながら学習していく環境を、教員と学生の間、学生同士の間につくっていきます。

- 自学自習・協働学習を行う「ラーニング・コモンズ/スタジオの整備」
- グループワークなどを採り入れ、振り返りのできる「様々な授業改善の工夫」



### 富山短期大学「教育改革ブーケ」

平成24年からの教育環境整備の取組みとAPの選定をベースに、地域と共に3つの教育目標に向かって取組み、確かな実りをもたらすイメージ図を作成。その形を花束になぞらえ、富山短期大学「教育改革ブーケ」としました。

平成25年度